

質問質疑

市政のこころを問う

この定例会では2月26日・27日・28日の3日間で、21人が登壇し、38項目にわたり、市政について質問質疑が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問質疑項目（発言順）

※…掲載した項目

- 上田昌哉 議員

※1 震災について

2 放課後児童クラブについて
- 葛原祐季 議員

※1 地域の共助力を高める施策について
- 三田真弥 議員

※1 事務事業評価について
- 星野雅春 議員

※2 令和7年度施政方針について

令和7年度教育行政方針について
- 稲垣雅弘 議員

※1 文化・スポーツを核とした都市拠点整備について
- 伊藤愛恵 議員

※1 子育て・教育施策について
- 新海真規 議員

※1 下水道の維持管理について

※2 上水道の維持管理について
- 大山実 議員

※1 介護予防の取組について

2 名古屋三河道路について
- 武藤美智代 議員

1 アビランスクエアの拡充について

※2 ことも・若者が笑顔になれる施策について
- 鈴木網男 議員

※1 施政方針及び議案の大綱について

2 教育行政方針について
- 中嶋祥元 議員

※1 令和7年度施政方針及び議案の大綱について

2 令和7年度教育行政方針について
- 蜂須賀信明 議員

※1 楽しく過ごせる学校生活について

2 刈谷市子ども・子育て支援事業計画について
- 鈴木正人 議員

※1 教育行政方針について

2 施設方針について
- 加藤幹樹 議員

1 市職員の給与などについて

2 刈谷デジタルクーポン事業「Kippon」について
- ※3 名鉄バス刈谷・愛教大線について

質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。
「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



上田昌哉 議員
災害時でも高齢者や障害者など
支援が必要な人への配慮を!!

問 外見では支援が必要か分かりにくい人のために避難所にヘルプマークを置いてはどうか。
答 外見からでは分かりにくい人が災害時に避難所等で身に付け、周囲に向けて支援が必要であることを伝わりやすくする災害時障害者支援用バンダナを指定避難所に備え付けている。

問 自閉症スペクトラム等の児童生徒のために避難所の設置は考えているか。
答 災害時に配慮を必要とする人等のために、一般避難所では要配慮者スペースを設けるとともに、一般避難所での共同生活



災害時でも誰もが安心できる環境の整備を

葛原祐季 議員
地域の共助力を高める施策の推進を!!

問 自治会への加入率が低下しているが、各自治会で実施している加入促進策はどうか。
答 東刈谷自治会の夏祭りや自治会加入ブースを設置した上で地区の紹介を行った。今川自治会では、自治会公式LINEアカウントを導入し、このような事例の横展開を図っている。本市が主体的に実施して

三田真弥 議員
事務事業評価シートの改善を!!

問 本市の事務事業評価シートは、必要性や効率性、妥当性、施策への貢献度という評価項目で、言葉の意味が広過ぎて評価がつけにくいのではないかと。根拠法令や費用の内訳、結果、目標値に関して何処まで達成したのか、評価を数値化して分かりやすく公開することは可能か。
答 事務事業評価シートは、

事業概要として事業の目的や総合計画の施策との関係、事業実績として年度別の活動実績や得られた成果、他市との比較、事業コストとして人件費も含めた形で事業費や財源の決算額などについて、見やすさ、分かりやすさを考えて必要な項目を1枚にまとめている。公表の仕方は常に研究していく。

鈴木網男 議員
刈谷市民が継続的に前進するために、職員力と市民力の向上を!!

問 令和7年度当初予算の重点配分とバランスはどうか。
答 子育て世帯の経済的な負担軽減を図るほか、市民が元気に笑顔で未来へ希望が持てるよう、様々な施策をバランスよく実施していきたいと考えている。

問 国の財政運営が行き詰まり、補助金を市町村に出せなくなると思つて
答 令和7年度当初予算の重点配分とバランスはどうか。
答 子育て世帯の経済的な負担軽減を図るほか、市民が元気に笑顔で未来へ希望が持てるよう、様々な施策をバランスよく実施していきたいと考えている。

中嶋祥元 議員
安心安全な地域医療の充実を!!

問 刈谷豊田総合病院の支援に関する市の考えはどうか。
答 第3次救急医療施設として、また、市民病院を持たない刈谷市にとって病診連携の中心、地域医療の中核的役割として、安心安全な医療環境を提供する上でなくてはならない病院と考えている。

問 医師等の人材確保・育成が重要と考えている。来年度予算に補助金拡充が提案されているが、その考え方はどのようなか。
答 市民病院的病院として継続的かつ安定的な医療提供が必



地域医療を守り、誰もが安心して暮らせるまちづくりを

蜂須賀信明 議員
児童生徒が楽しんで登校し、一生懸命に学びができる環境づくりを!!

問 いじめを早期発見するための課題と未然防止の取組は。
答 SNS上のいじめはネットワーク上で行われており、目

星野雅春 議員
教員の働き方改革と子供の成長につながる活動との両立を!!

問 小学校の部活動が終了し音楽活動の受皿として放課後子ども教室で音楽教室を行うようだが、新4年生は部活動に入らず残念という声を聞く。部活動廃止を子供にどう伝えたいか。
答 令和7年度の4年生から部員の募集を停止し、8年度末で小学校の部活動を終了する文書を全家庭に通知した。各学校

稲垣雅弘 議員
美術館リニューアル検討事業はスピード感を持っていくべき!!

問 美術館の今日的役割は。
答 美術品の収集、保存、継承、展示等の拠点のみならず、地域の生涯学習活動やボランティア活動、観光等の拠点として、幅広い役割が求められている。

問 美術館リニューアル検討事業の検討組織や内容はどのようなか。
答 検討組織には、美術館運営

伊藤愛恵 議員
将来にわたって産業の持続的発展につながる教育施策の拡充を!!

問 市内企業が人材確保に苦慮しているが、子供たちに地元企業の魅力や取組を知ってもらうために実施している施策はどのようなか。
答 未来創造たまご塾や、刈谷産業まつりでのアウトオブキツザニアなどで就労観や職業観の育成に努めている。また、中学生に対して、様々な業種にわた

新海真規 議員
上下水道の老朽化対策を万全に対応できる職員体制を!!

問 市民に安心していただくため上下水道の維持管理状況を確認するが、市内に2メートル

た携帯・スマホ安全教室の実施等を一層充実させていきたい。
問 児童生徒への教育指針に対する教育長の所見はどうか。
答 子供たちにとって学校が楽しく過ごせる場所であること

鈴木正人 議員
市制施行75周年をきっかけとして、刈谷のにぎわいを次なるステージへ!!

問 市制施行75年目に当たり、市長の思いや考えはどうか。
答 コロナ禍で失われつつあった人と人とのつながりやにぎわいの創出、物価高騰への対応、防災、減災のまちづくりを継続し、75周年という年を一つの節目としたい。具体的な取組として、小学生を対象とした、サッカー元日本代表や現役

加藤幹樹 議員
愛知教育大学等と連携を図り、名鉄バス刈谷・愛教大線の充実を!!

問 名鉄バス刈谷・愛教大線の乗客数、補助金額の推移は。
答 乗客数は、令和3年度が3万1939人、4年度が3万2215人、5年度が3万2809人。補助金額は、3年度が1706万9千円、4年度が1357万円、5年度が1382万4千円である。

佐々木隆教 議員
水道水中のPFOS及びPFOAの検査を3か月に1回に短縮すべき!!

問 他県の水道水では高濃度PFOS等が検出された。リスク管理をするため、年に1回実施しているPFOS等の検査の間隔を短縮すべきではないか。
答 環境省の審議会の部会において、検査頻度をおおむね3か月1回以上を基本とし、令和8年4月開始が適当と示された。安心安全な水道水を供給で

問 暫定目標値を超えた濃度のPFOS等が検出された場合の対応は検討されているのか。
答 高濃度検出施設からの取水を停止し、更新後の浄水場では、PFOS等を除去できる浄水工程を検討していく。

佐々木隆教 議員
交通安全の取組について
※2 安全で持続可能な水道事業について
佐原恭恭 議員
1 資源ごみの持ち去り対策について
※2 脱炭素社会の実現に向けた取組について
山本シモ子 議員
※1 市長の政治姿勢について
2 教育行政方針について
鈴木定晴 議員
※1 防災・減災について
森島公祐 議員
1 食料供給困難事態対策法について
※2 建設業における働き方改革と補助金について
城内志津 議員
※1 新年度予算案について
谷口睦生 議員
※1 施設方針について
2 教育行政方針について

状況はどうなっているか。
※2 避難所や医療機関に接続したり、緊急輸送道路に埋設された污水管を重要な幹線等とし、下水道管路等の耐震化に取り組み、今年度末に完了予定である。上下水道の老朽化が進む

本市ではどのような方針で介護予防に関する施策を進めているのか。
※2 要支援認定者と基本チェックリスト該当者を対象とした介護予防・生活支援サービス事業の推進、生活支援サービスの拡充策立案など、きめ細かい施策の推進に努めている。
※2 リハビリをメインに行う

武藤美智代 議員
ヤングケアラーや貧困状況にある子供たちへの生活・学習支援の充実を!!

※2 ヤングケアラーの解消のための「子育て世帯訪問支援事業」とはどのようなか。

デイスービスが増えることは要介護認定者の低減につながるのではないかと考えるが、市の見解はどうか。
※2 機能訓練に特化したデイスービスの重要性は認識している。専門職の方々と連携を取りながら、その人に合ったサービスの提供など、きめ細かい事業の推進を図っていく。

虐待リスクの高まりやヤングケアラーの発生等を防止することを目的として、家事の支